

府中市民提案型市民活動支援事業  
第3回子どもたちへ語り継ぐいのちの尊さ

# ぼく生きたかった

～ヒロシマ母の記～

朗 読 麦わら帽子の会  
ゲスト 横井久美子 (シンガーソングライター)  
共 演 ホットジェネレーション  
府中紫金草合唱団  
青空合唱団  
構 成 板倉真琴 (脚本家・映画監督)

いま 新しい年の朝に  
私は扉を開けて  
うたうのだ  
いのちをわけた  
ひろしまの詩を  
ひろしまにつながる  
平和の詩を

主 催 麦わら帽子の会  
後 援 府中市  
府中市教育委員会  
大 人：1,000 円  
中高生：500 円  
小学生以下・障害者：無料

原 案 名越操著「ヒロシマ母の記  
史樹の「死」を生きて」  
(平和文化 1985 年)

日時：2011年2月12日(土)  
13:30 14:00 開場 14:30 開演  
所：府中グリーンプラザけやきホール  
京王線府中駅北口徒歩1分 (TEL042-360-3311)  
問合せ：岩佐 090-5994-0338  
武藤 042-361-9406



## プロフィール

### 横井久美子

名古屋市出身。国立音楽大学声楽科卒。

国内をはじめ、ベトナム、南アフリカ、ニカラグア、チリ、コスタリカ、アイルランドなどを訪問し、世界各地の歌を日本に紹介してきました。行動するシンガーソングライターとしてさまざまな現場に出かけ、音楽家として「歌を必要とする人のもとに歌を届ける」活動を続けています。また、ホールコンサートのみならず、生の声で歌う50人限定ミニライブ「春秋楽座」を、日本各地でこれまで300回近く開催しました。海外公演では、ベトナムの枯葉剤被害児との交流コンサート(3月)、アイルランド・リマリック市の聖メアリー大聖堂でのジョイントコンサート(8月)は、毎年恒例になっています。

### ホットジェネレーション

ボランティアにてアーティストを募り、ダンス、アート、音楽のレッスンを子どもたちに提供しています。オリジナルミュージカル公演はTV、新聞、雑誌等でも紹介され、健常児と障害児が一体となったパフォーマンスと、プロのアーティストの熱いサポートを得て「勇気と希望」を贈る作品をご覧ください。

### 府中紫金草合唱団 ヴィオレッティ

日中友好の花「むらさき花だいこん」の合唱朗読構成組曲『紫金草物語』を歌う合唱団として7年前に誕生。(指揮者は広瀬忠雄先生、ピアノは中村茂美先生)

東京紫金草合唱団と共に、「平和のつとめ」や小・中学校での公演も行なってきました。

全国紫金草ネットワークの紫金草合唱団と共に、南京・上海などの中国交流コンサートにも参加しています。

### 青空合唱団

1977年に府中市立四谷小学校にて発足し、以来33年余り続いている合唱団です。

現在は7人の子どもたちが在籍し、月2回歌の練習に励んでいます。

活動としては、7月に行なわれるサマーフェスティバル、並びに8月に行なわれる青少年音楽祭に参加、年度末には定期演奏会を行なっています。その他、福祉活動にも参加を目指しています。

歌の好きな子どもたちが集まり、とても元気で明るい団体です。

### 板倉真琴

1960年、東京生まれ。

脚本家として活躍する一方、珠玉の人間ドラマとして好評を博した、岩手県・小繋駅が舞台の映画『待合室』で監督デビュー。

現在は、自らカメラを手にドキュメンタリー映画の製作にも力を入れています。

## 麦わら帽子の会



1995年に市報で市民に呼びかけて誕生した朗読グループ。

「けやき平和コンサート」の会が戦後50年の記念としてヒロシマ・ナガサキで被爆した子どもたちやおかあさんたちの想いを綴った『この子たちの夏』の朗読劇に取り組んだのを機に、活動をスタートしました。

それから15年、たくさんのかたがたに支えられつつ、ささやかながらも「いのちの尊さ」「平和の大切さ」をひとすじに語り続けています。